

ハイロー 1 モーターベッドシリーズ

取扱説明書

この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買いあげ、またはレンタル頂き、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用の前に必ずお読みになり正しくお使いください。

また分解・組み立て手順も記載されております。ベッドを安全にご使用いただくため、手順をよくご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってください。

この「取扱説明書」は、いつでもごらんいただけるように大切に保管してください。



ランダルコーポレーション

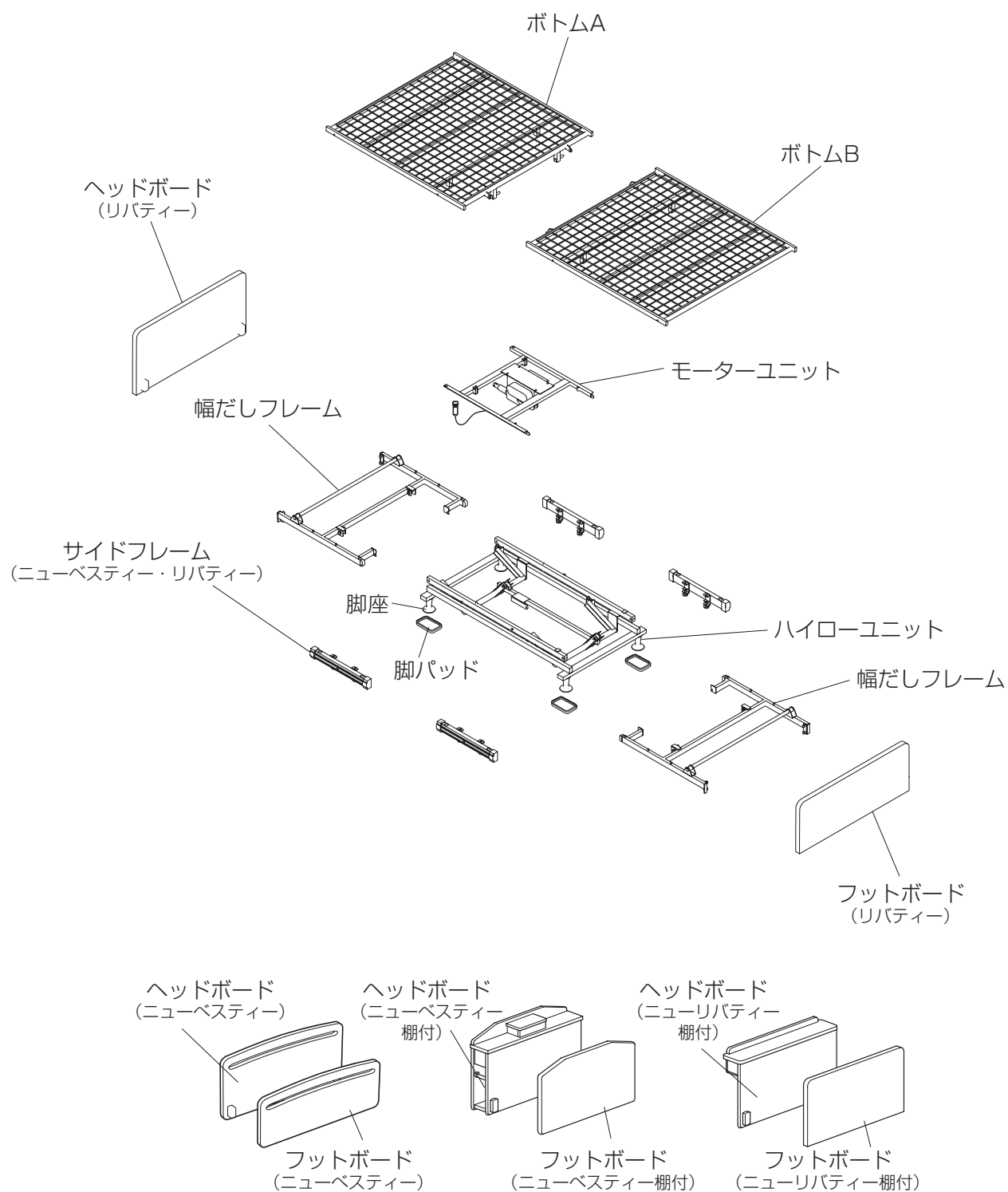
LUNDAL
CORPORATION

目次

1.	各部の名称	3
2.	安全に使用いただくために	4
3.	日常の使用方法和操作	5
4.	組み立て方法	6
	■ 組み立てる前に	6
	■ パッケージごとの内容物と付属品	7
	① 脚座を取り付けます	8
	② 幅だしフレームを取り付けます	8
	③ モーターユニットを取り付けます	9
	④ ボトム A を取り付けます	9
	⑤ ボトム B を取り付けます	10
	⑥ サイドフレームを取り付けます	10
	⑦ ヘッドボード・フットボードを取り付けます	11
	⑧ 完成	11
5.	分解方法	12
	① ヘッドボード・フットボードを取り外します	12
	② サイドフレームを取り外します	13
	③ ボトム B を取り外します	13
	④ ボトム A を取り外します	14
	⑤ モーターユニットを取り外します	14
	⑥ 幅だしフレームを取り外します	15
	⑦ 脚座を取り外します	15
6.	サイドレール・ベッド用グリップの 取り付けについて	16
7.	仕様について	19
8.	故障かな？と思ったら	19

1. 各部の名称

ハイロー1モーターベッド シリーズ



2. 安全に使用いただくために

この取扱説明書では、ベッドを安全に正しくお使いいただくために、守らなければならない内容や、注意する必要がある内容について、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して取り扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- ベッドの近くにストーブ等の熱器具を置かないでください。火災や変質、変形の原因になります。
- ベッドの上での喫煙はお止めください。火災の原因になります。
- ベッドの上で飛び跳ねたり、不用意に立上ったりしないでください。転倒し、けがをしたりベッドが破損する可能性があります。
- ベッドの設置場所の上部に不安定な物を置かないでください。地震等の際に落下してけがをする可能性があります。
- 運転中はベッドの可動部に近寄ったり、触ったりしないでください。挟まれたり巻き込まれたりしてけがをする可能性があります。
- この取扱説明書に記載されている分解手順以外の製品の分解や改造は、絶対にしないでください。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- ベッドの下に潜り込んだり、頭・手・脚等を入れないでください。可動部分に挟まれてけがをする恐れがあります。
- ベッドの上に二人以上乗って使用しないでください。ベッドが破損する可能性があります。
- 12才以下の子供や自分で適切に操作できない方には、一人で操作させないようにしてください。故障や人身事故を招く恐れがあります。
- サイドフレームを設置した後、ノブがしっかりと締めてあるか確認をしてからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとサイドフレームが外れてけがをする場合があります。
- サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間に頭・手・脚等が入り込まないように十分注意してください。特にベッド上で予測不可の行動を取る方、御自分で体を自由に動かす事が出来ない方は、細心の注意を払って使用してください。生命に関わる事故を起こす可能性があります。
- サイドレールを取り付けて使用する際は、サイドレールの隙間から頭・手・脚等を出したままベッドを操作しないでください。
- 電源コードはベッドで踏んだり他の物で挟んだりしないでください。ベッドの故障や火災の原因になります。
- ベッドの高さを変える際は介護者の脚がベッドの下に入り込んでいないか確認してから行ってください。



注意

- ベッドの周辺には危険物を置かないでください。ベッドから落下した時、けがをする可能性があります。
- ベッドの移動は必ず二人以上で行ってください。引きずると、床に傷が付いたりベッドを破損する可能性があります。
- ベッドの下に物を置かないでください。ベッド操作時に部品が干渉し故障の原因になります。
- 平らな場所に設置してください。ガタツキや異常音など故障の原因になります。
- 故障や異常に気が付いたら即座に使用を中止してください。そのまま使用すると故障の原因になります。
- 電源は直接コンセントからとってください。
- ベッドでマッサージを行うときは、ベッド床を最低位置まで下げてください。
- 治療中の方は担当医に相談してからベッドを使用してください。ベッドの操作が病状を悪化させる可能性があります。
- 指定製品以外での組み合わせはしないでください。事故や故障の原因になります。
- ベッド本体やボトムにヒモなどを縛ったままベッドを操作しないでください。

3. 日常の使用方法和操作

■ 手元スイッチの操作方法

床あげ



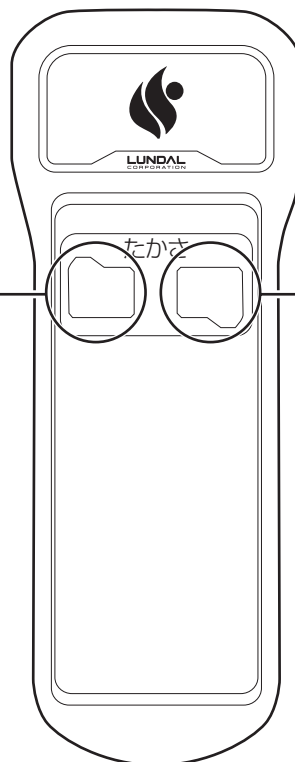
ベッドの高さを調整します。
(床からボトムまでの高さを31から61cmの間で調整します。)



ベッドから立ちあがるときや、車いすに乗り移るときに高さを調節することができます。

介護しやすい高さに調節することができます。

手元スイッチ操作ボタン



床あげ

床さげ



警告

12歳以下のお子さまや自分でベッドを適切に操作できない方には、一人でベッドを操作させないでください。故障や人身事故を招く恐れがあります。



注意

手元スイッチのケーブルがベッドの駆動部に絡まないように注意してください。ケーブルが引っ張られたままベッドを使用すると、断線や故障の原因となります。



- 手元スイッチを操作してもベッドが動かない場合は、繰り返し手元スイッチを操作せず、「8. 故障かな?と思ったら」(19ページ)を参照してください。

4. 組み立て方法

■ 組み立てる前に

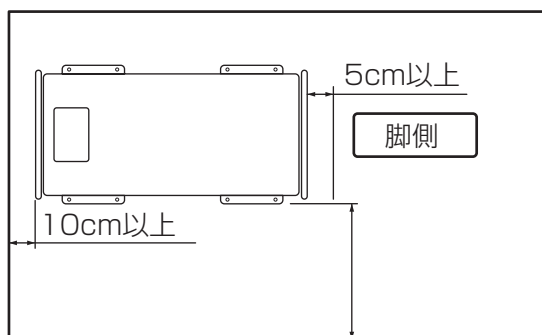
組み立ては以下の注意事項をよくお読みの上、行ってください。

⚠ 注 意

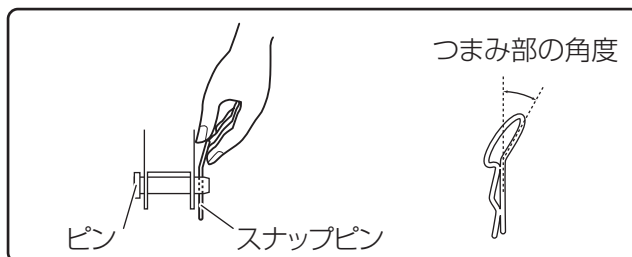
ベッドを組み立てるときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。ベッドを組み立てるときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。



- 組み立ては必ず大人2名以上で行ってください。
- ベッドは一度組み立てると移動させることが困難です。
ベッドを利用される方が車いすに乗り降りする場合、ベッドの横に車いすを横付けできるスペースを確保してください。また、介護の方がベッドの周りで介護するためのスペースなども十分に確保してベッドを設置してください。

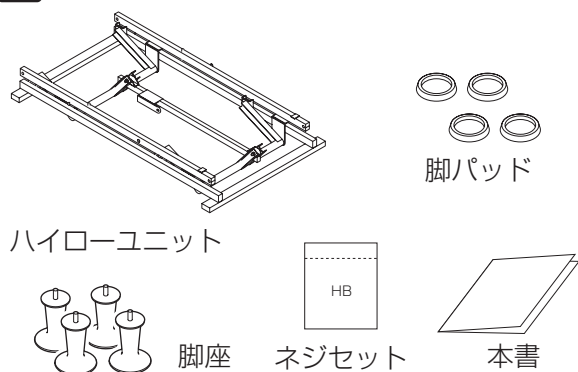


- ベッドは電動操作で動きます。背・膝上げ操作、特に高さ方向においては、ベッドが動くにつれ高さ寸法が増していくので、ベッド周辺の家具および構造物の一部に当たらないようにしてください。
- スナップピンには着脱しやすいように、つまみ部に角度が設けてあります。取り付け時にはこの部分が外側へ向くようにしてください。

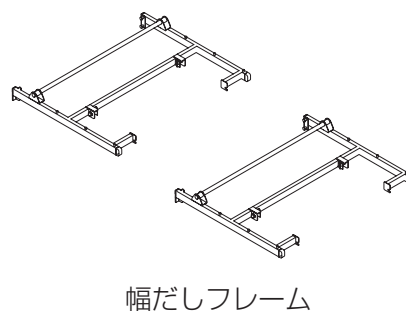


■ パッケージごとの内容物と付属品

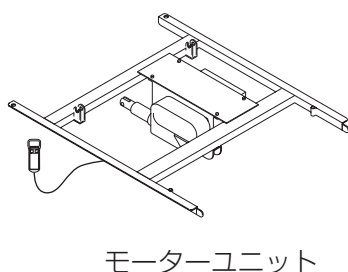
1 ハイローユニット



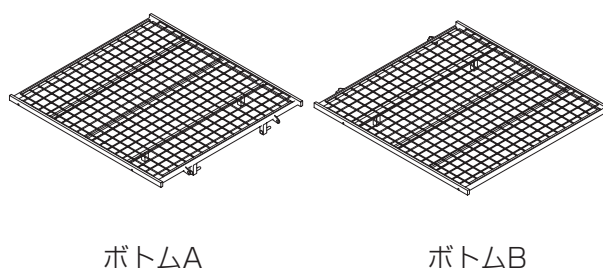
2 幅だしフレーム



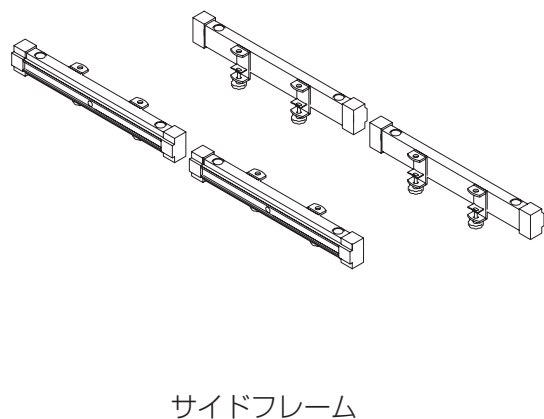
3 モーターユニット



4 ボトムユニット

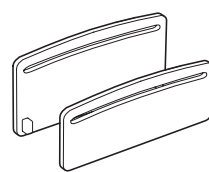


5 サイドフレーム

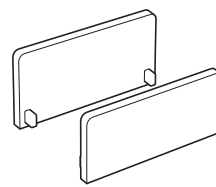


6 ヘッド・フットボード

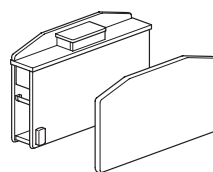
シリーズによってヘッド・フットボードが異なります



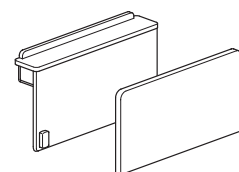
【ニューベスティー】



【ニューリバティー】

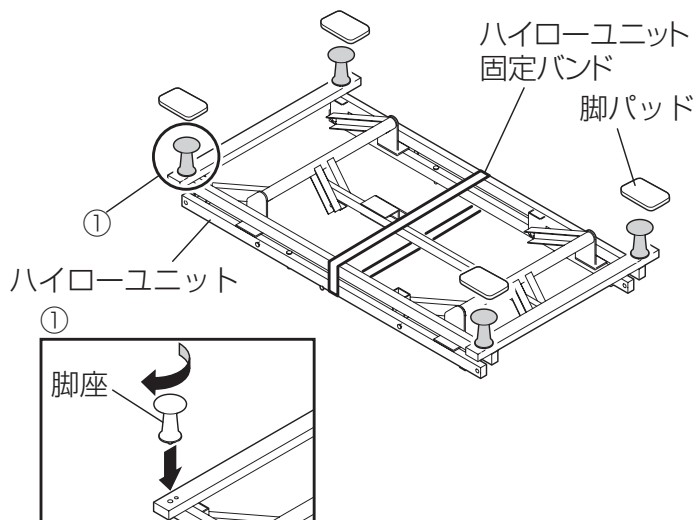


【ニューベスティー棚付】



【ニューリバティー棚付】

1 脚座を取り付けます



ハイローユニットは天地さかさまの状態に梱包されております。その状態のまま箱から取り出し、組み立てを行ってください。



ハイローユニット固定バンドは指示があるまで取り外さないでください。

- ① ハイローユニットがさかさまの状態に脚座を4ヶ所に取り付けます。
- ② 脚座を取り付けたらハイローユニットを裏返します。
- ③ ベッドを使用する位置にハイローユニットを設置します。

⚠ 警告

ベッドは組み立てが完了するとおおよそ70～80kgとなります。ベッドを設置する床の耐荷重に注意してください。



畳やじゅうたんなどの上で長期ご使用する場合は、脚座またはキャスターの下に付属の脚パッドを敷いてください。ゆかのへこみ、キズつきを軽減することができます。

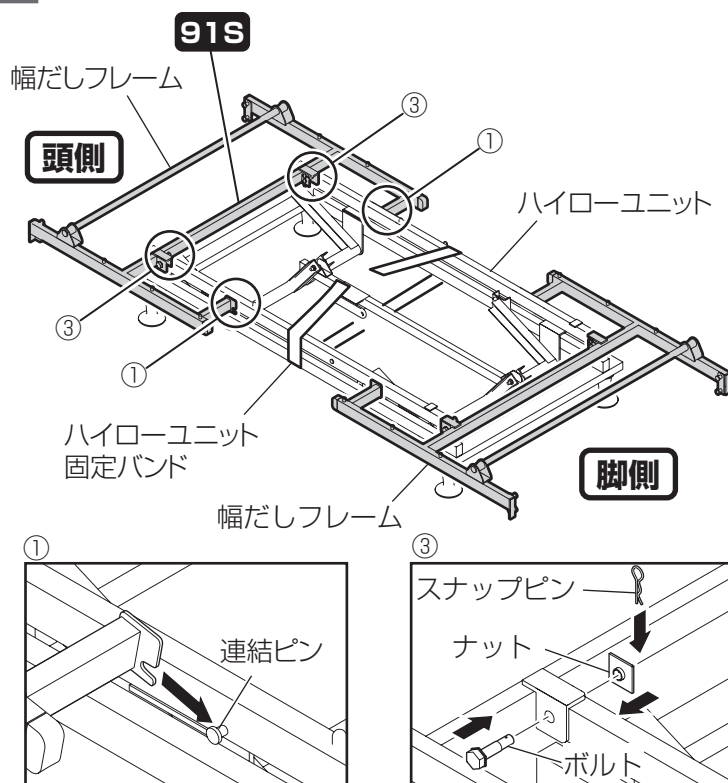
⚠ 注意

塩化ビニル系のゆかでの使用はやめてください。ゆか材にパッドの色が移り、ゆかを汚す可能性があります。

⚠ 警告

- 脚座ゴムシートの表面は必ず拭いてください。そのまま使用すると、ベッドに寄りかかったり乗り降りする際などにベッドが滑って、思わぬけがをするおそれがあります。
- 脚座ゴムシートが確実に設置され、ベッドが安定していることを確認してください。安定しない状態で使用すると、思わぬけがや破損の原因となります。

2 幅だしフレームを取り付けます



幅だしフレームは頭側、脚側で同じものを使用します。

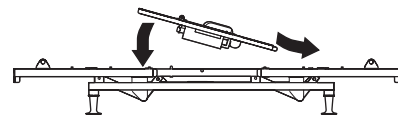


ショートサイズをお買い上げまたはレンタルのお客様は91Sとシールが貼られている幅だしフレームを頭側へ取り付けてください。

- ① ハイローユニットの2カ所の連結ピンに幅だしフレームの連結金具をはめ込みます。
- ② その状態のまま幅だしフレームをハイローユニットに静かに倒します。
- ③ 幅だしフレームとハイローユニットの連結部2カ所にナットを差し込んだ後、ボルトを付属品のスパナで締め付け、スナップピンで固定します。
- ④ 同様の方法で逆側の幅だしフレームを取り付けます。
- ⑤ ハイローユニットを固定しているバンドを外します。

3 モーターユニットを取り付けます

- ① モーターユニットの連結金具をハイローユニットのツメの内側にはめ込み、ハイローユニットの2カ所の位置決めピンにモーターユニットのフレームの穴があうように静かに降ろしてスナップピンで固定します。



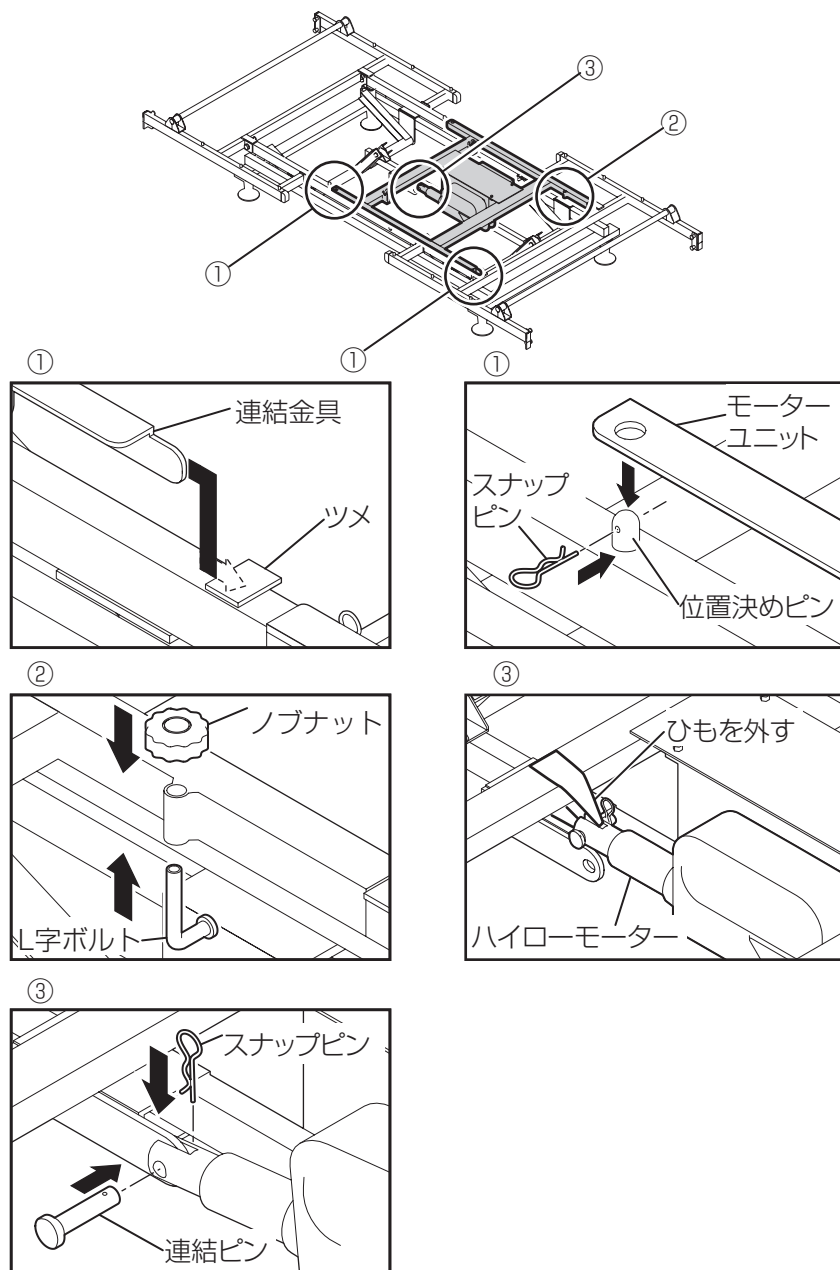
- ② ハイローユニットとモーターユニットの連結部2カ所にL字ボルトを取り付け、ノブナットでハイローユニットとモーターユニットを固定します。

⚠ 警告

ノブナットがしっかり締まっていることを確認してください。ノブナットがゆるんでいるとモーターユニットが外れて落下するおそれがあります。

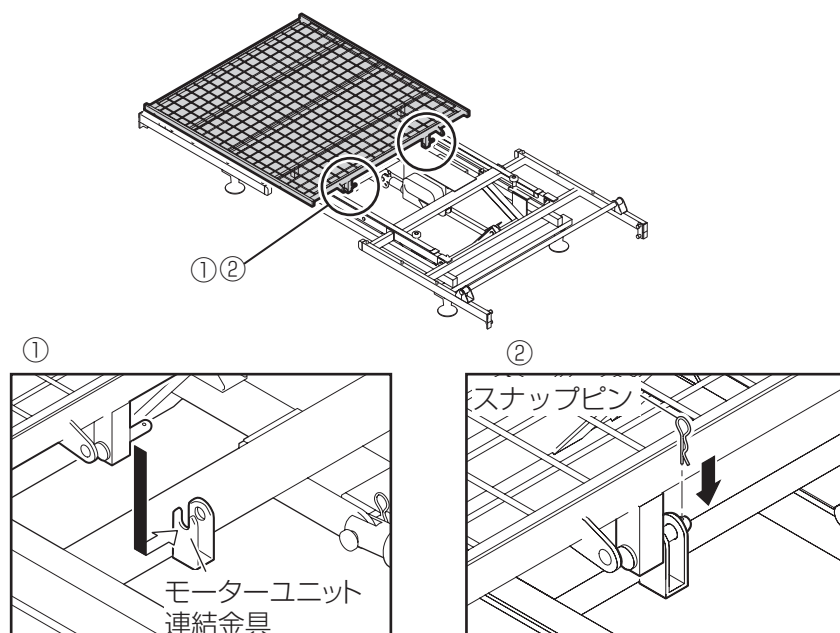
- ③ ハイローモーターを固定しているひもを外します。ハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンでハイローモーターとハイローユニットの駆動部を連結しスナップピンで固定します。

- ④ 電源ケーブル・手元スイッチが固定されているひもを解きます。



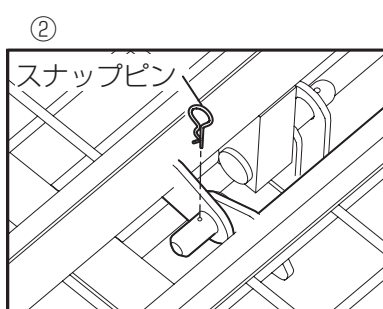
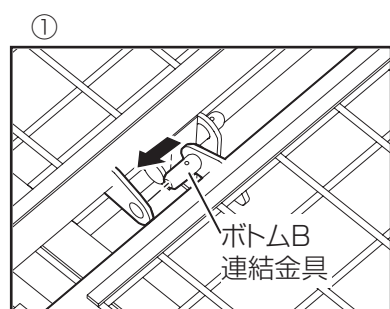
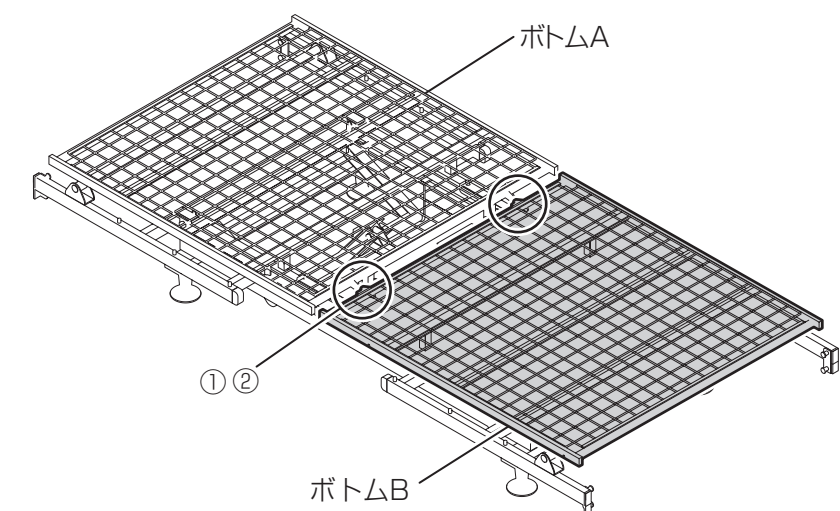
4 ボトム A を取り付けます

- ① モーターユニット左右の連結金具の切り欠きを利用してボトム A の連結金具に差し込み、ボトム A を横にスライドさせます。
- ② ボトム A をスライドさせることにより出てくるモーターユニットの連結金具にスナップピンを差し込み固定します。



5 ボトム B を取り付けます

- ① ボトム A の左右の連結金具にボトム B の連結金具を差し込み、ボトム B を横にスライドさせます。
- ② ボトム B をスライドさせることにより出てくるボトム B の連結金具にスナップピンを差し込み固定します。



6 サイドフレームを取り付けます

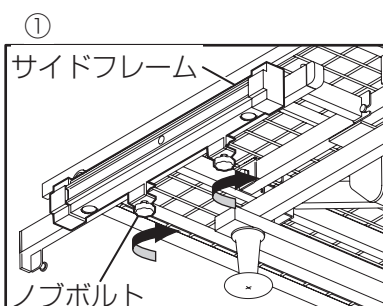
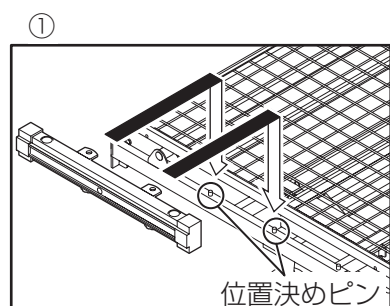
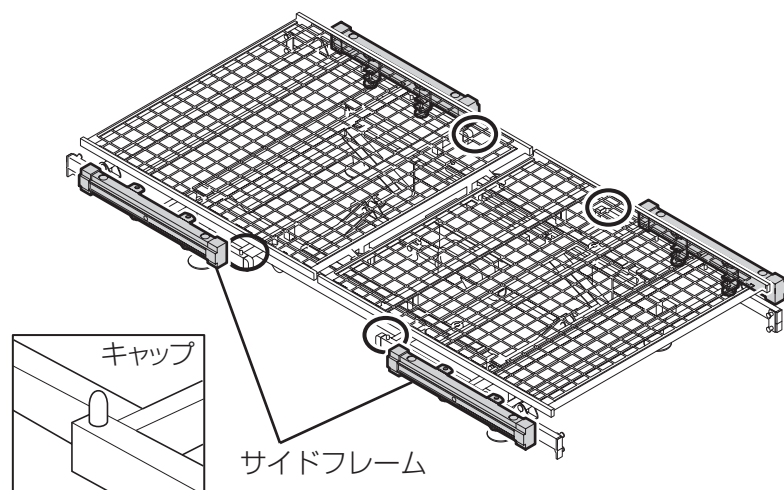
- ① ハイローユニットの位置決めピンにサイドフレームの位置決め穴をはめ込み、2 カ所のノブボルトを締めます。
- ② 同様の手順で 4 カ所全てに取り付けます。



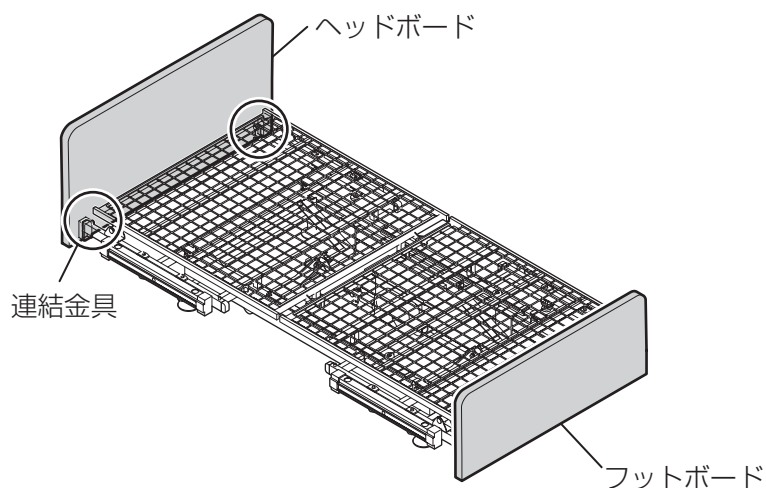
ノブボルトは搬送時の破損を防止するため、締めた状態で出荷されています。あらかじめゆるめておいてから取り付けを行ってください。
○部分のキャップが付いている箇所は、サイドフレームを取り付けることはできません。
ショートサイズベッドのあし側の幅出しフレームには、キャップは付いていません。

⚠ 警告

サイドフレームを設置した後、ノブがしっかり締めてあるか確認をしてからベッドを使用してください。ノブがゆるんでいるとサイドフレームが外れてけがをするおそれがあります。

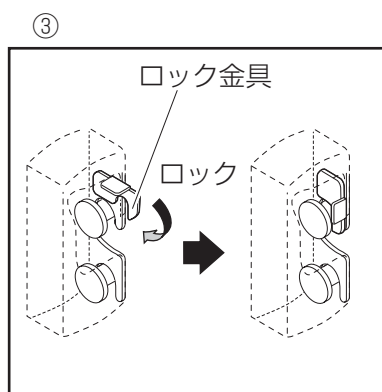
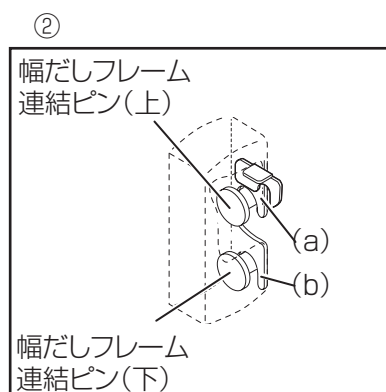


7 ヘッドボード・フットボードを取り付けます

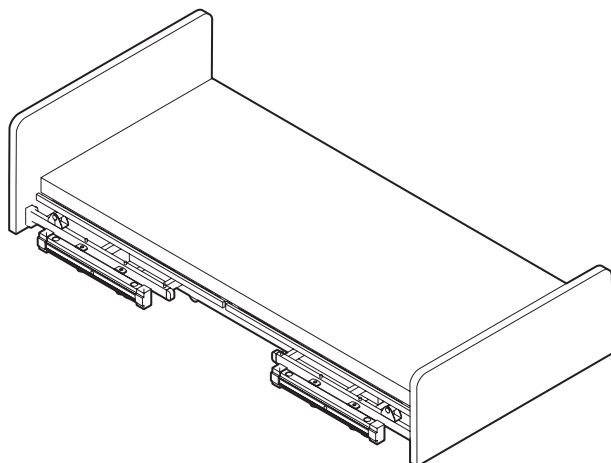


ヘッドボードとフットボードでは大きさが異なります。大きい方がヘッドボード、小さい方がフットボードとなります。

- ① ヘッドボードの連結金具 2 カ所のロック金具を解除します。
- ② ボトム A 側の幅だしフレームの連結金具 2 カ所にヘッドボードの連結金具をはめ込みます。幅だしフレームの連結ピンは、上下に設置されています。連結ピンの上には (a) を、連結ピンの下には (b) を差し込んでください。
- ③ ヘッドボードの連結金具 2 カ所のロック金具をロックします。
- ④ フットボードの取り付けはヘッドボードと同様です。ヘッドボードの取り付け方法を参考にしてフットボードを取り付けてください。



8 完成



- ① マットレスをのせて完成です。



畳ベッドをお買い上げ、またはレンタルのお客様は畳に添付されています説明書を参照ください。

5. 分解方法

ベッドを分解する前に以下の作業を行ってください。



- ベッドに装着しているオプションパーツなどがありましたら取り外します。
- 寝具、マットレスをベッドから降ろします。
- ベッド床高さを最低位置まで下げます。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。



注 意

ベッドを分解するときは、誤動作による事故を防止するため、電源プラグをコンセントからはずして作業を行います。
ベッドを分解するときは、各部品の駆動部に指などを挟まないように注意してください。

- 分解は必ず大人2名以上で行ってください。
- 取り外したスナップピン、連結ピンは紛失しないように袋などに入れ保管してください。

1 ヘッドボード・フットボードを取り外します

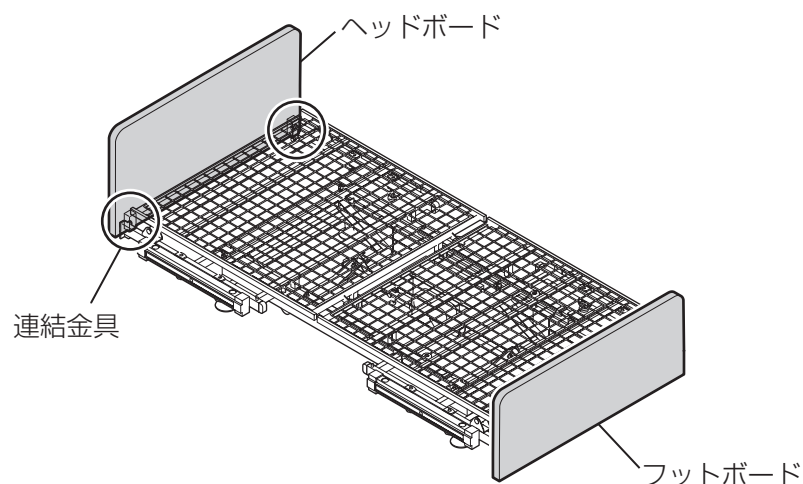
ヘッドボード・フットボードはニューベスティー（棚付）・リバティー（棚付）シリーズで形は異なりますが、取り外し方法は全て同じです。（この取扱説明書でのイラストはニューリバティーシリーズとなっています）

- ① フットボードを取り外します。フットボードの2カ所の連結金具のロック金具を解除して、フットボードを斜め上方向に引き上げながら取り外します。

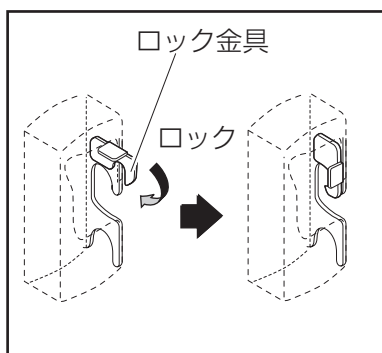
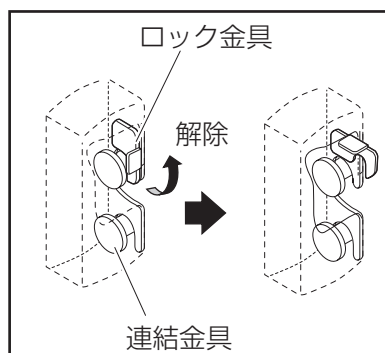


取り外したフットボードの連結金具の2カ所のロック金具は、搬送中の破損を防止するため、必ずロック位置に戻して梱包してください。

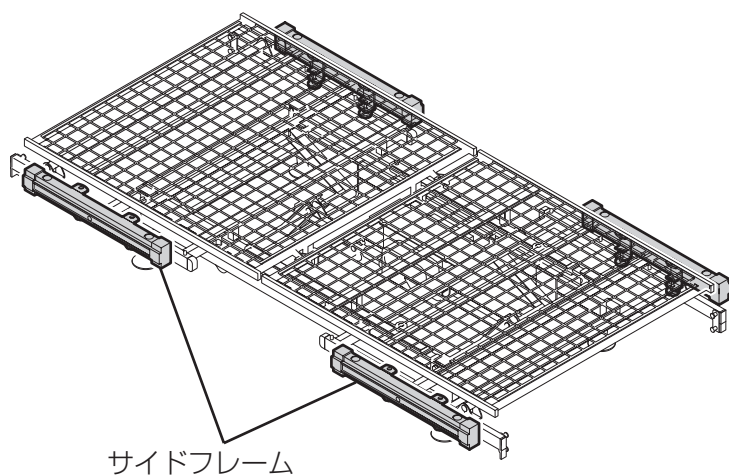
- ② ヘッドボードの取り外しはフットボードと同様です。フットボードの取り外し方法を参考にしてヘッドボードを取り外してください。



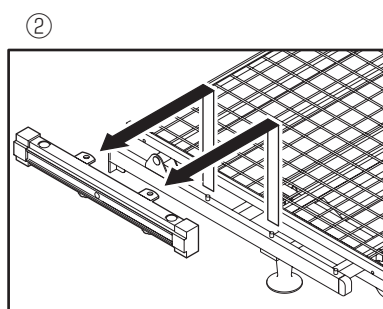
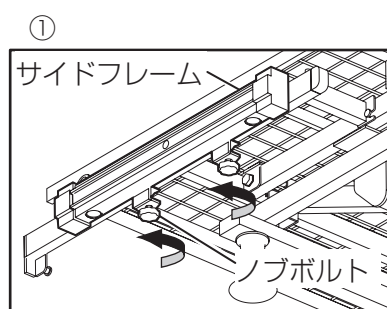
①



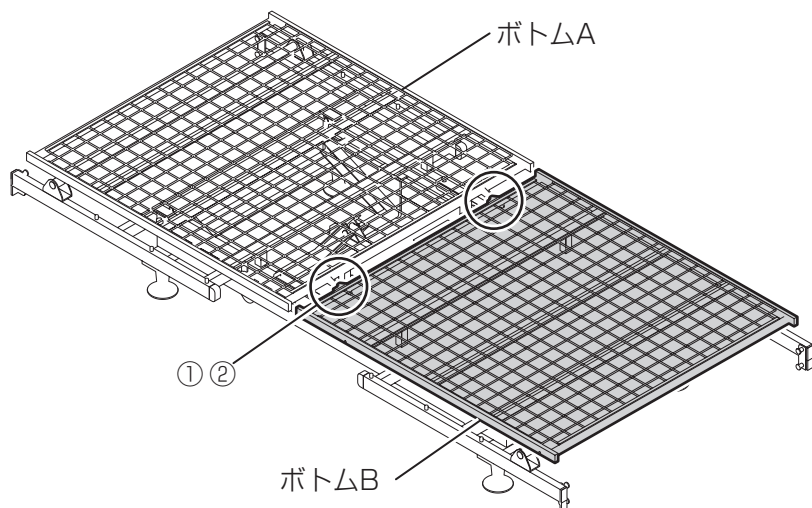
2 サイドフレームを取り外します



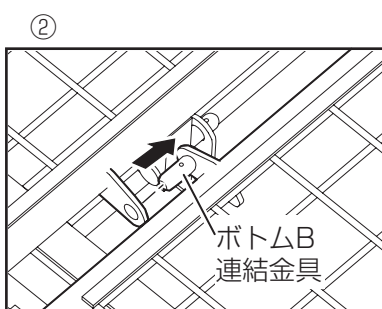
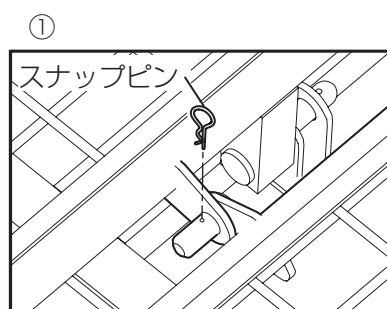
- ① サイドフレームの2カ所のノブボルトを緩めます。
- ② 幅だしフレームから取り外します。同じように残り3つのサイドフレームを取り外します。



3 ボトムBを取り外します



- ① ボトムBとボトムAを連結している、左右の連結部のスナップピンを抜き取ります。
- ② ボトムBを持ち、3センチほど横にスライドさせた後、持ち上げて取り外します。



4

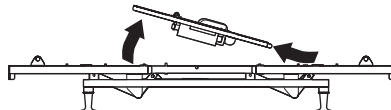


5

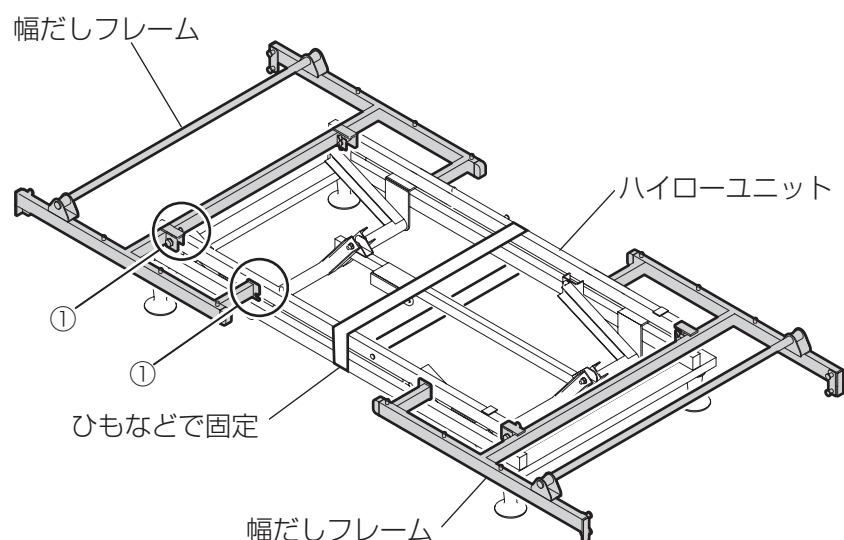


- ① ボトム A とモーターユニットを連結している、左右の連結部のスナップピンを抜き取ります。
- ② ボトム A を持ち、3 センチほど横にスライドさせた後、持ち上げて取り外します。

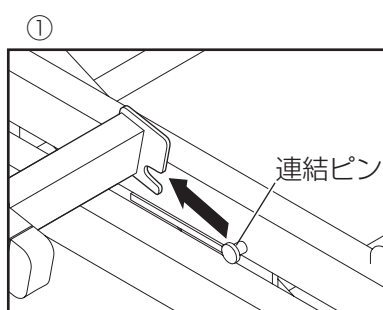
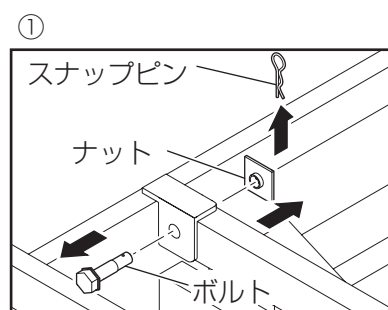
- ① 駆動部と連結しているハイローモーター先端の連結ピンのスナップピンを抜き取り、連結ピンを引き抜きます。この連結ピンをハイローモーター先端に差し込み、スナップピンで固定します。ハイローモーターをひもなどでモーターユニットのフレームに固定します。
- ② 電源ケーブル・手元スイッチをひも等で束ねます。
- ③ 2カ所あるハイローユニットとモーターユニットの連結部のノブナットをゆるめて十字ボルトを引き抜きます。
- ④ スナップピンを取り外してモーターユニットの頭側を5センチほど引き上げた状態で、モーターユニット全体を頭側へスライドさせ、ハイローユニットのツメから外した後、持ち上げて取り外します。



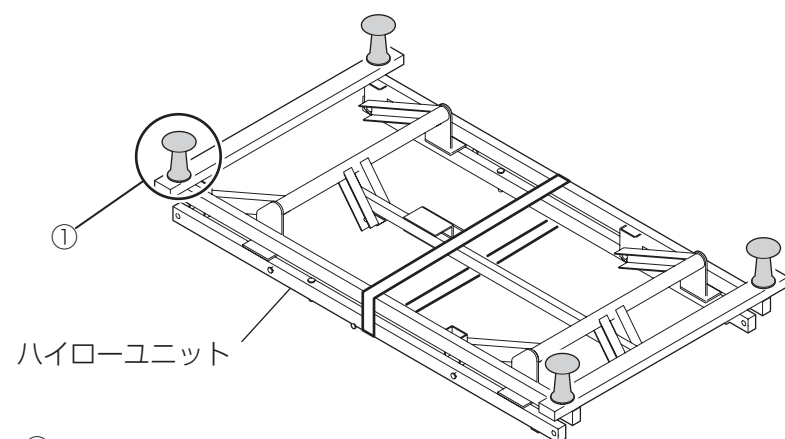
6 幅だしフレームを取り外します



- ① 幅だしフレームとハイローユニットを連結している、左右の連結ボルトのスナップピンを抜き、ボルト、ナットを抜きます。連結ピンを取り外し、幅だしフレームを上引き上げ取り外します。
- ② 逆側の幅だしフレームも同様の方法で取り外します。
- ③ ハイローユニットをひもなどで固定します。

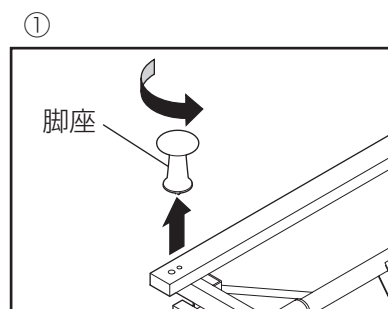


7 脚座を取り外します



- ① ハイローユニットを裏返し、4つある脚座を取り外します。

以上で分解作業は終了です。



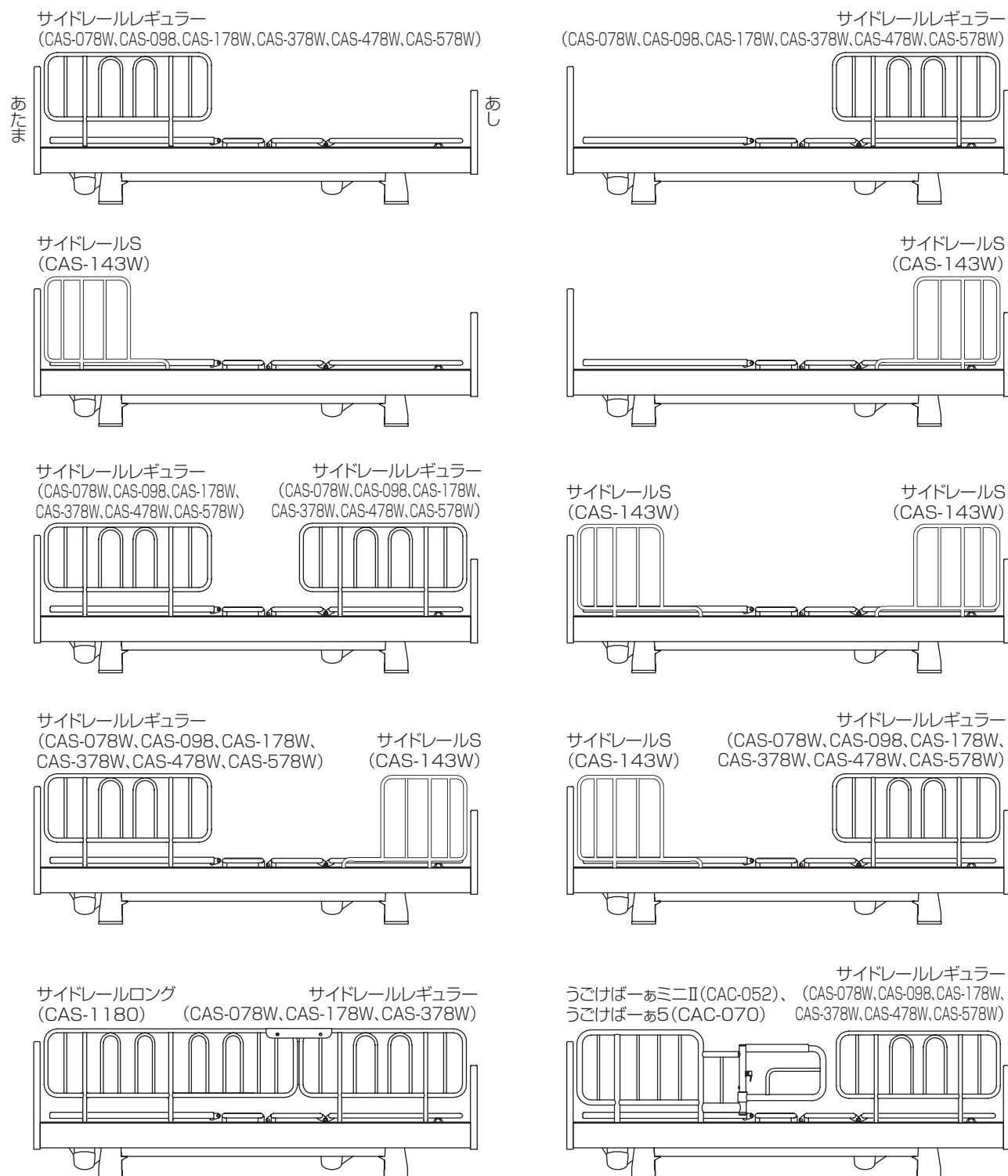
6. サイドレール・ベッド用グリップの取り付けについて

サイドレール、ベッド用グリップのベッドへの取付けは下記の図表を参照して、正しい組み合わせで、また、正しい方向に取り付けてください。

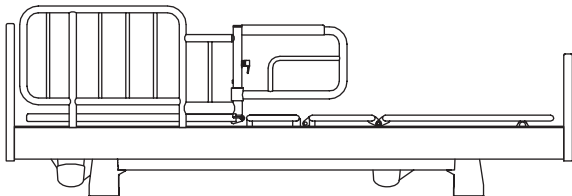
※サイドレール、ベッド用グリップはベッドのサイズに合わせてお選びください。

※サイドレールレギュラーのイラストはCAS-078Wになります。

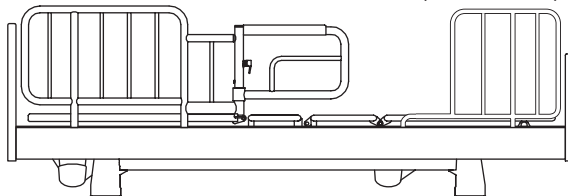
[レギュラーサイズ]ベッドの場合



うごけぱーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、
うごけぱーあ5(CAC-070)、
うごけぱーあミニⅡ(CAC-052)

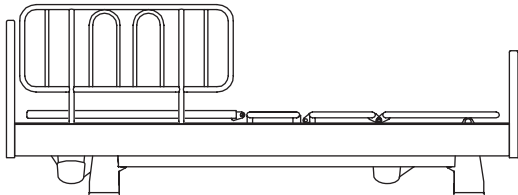


うごけぱーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、
うごけぱーあ5(CAC-070)、
うごけぱーあミニⅡ(CAC-052) サイドレールS
(CAS-143W)

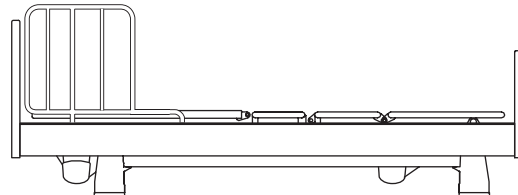


[ショートサイズ]ベッドの場合

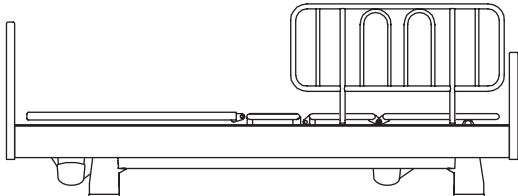
サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



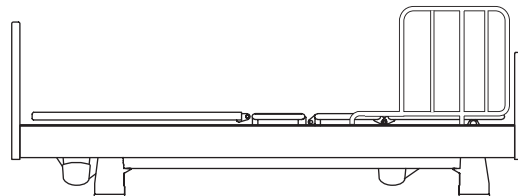
サイドレールS
(CAS-143W)



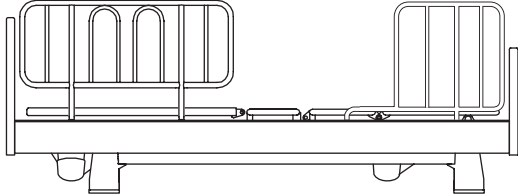
サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W,
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W)



サイドレールS
(CAS-143W)

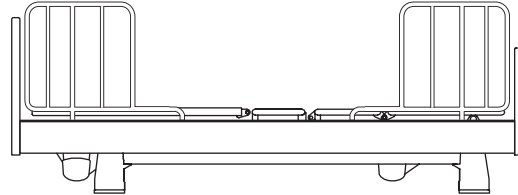


サイドレールレギュラー
(CAS-078W, CAS-098, CAS-178W, サイドレールS
CAS-378W, CAS-478W, CAS-578W) (CAS-143W)

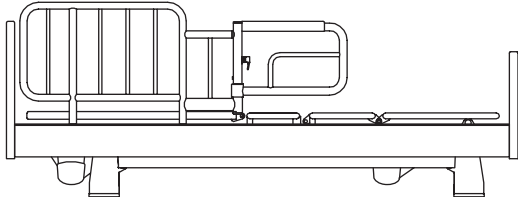


サイドレールS
(CAS-143W)

サイドレールS
(CAS-143W)



うごけぱーあ5 フラットタイプ(CAC-080)、
うごけぱーあ5(CAC-070)、
うごけぱーあミニⅡ(CAC-052)





警告

- ・ オプション間のすき間やオプションとヘッド・フットボードのすき間に、頭や首が入らないように注意してください。
- ・ 各オプションに添付されている取扱説明書も必ずお読みください。
- ・ サイドレールは、ベッドで寝ている人の転落予防、寝具の落下予防を目的としています。立ち上がり時など、支えとしてお使いになる場合はベッド用グリップをお使いください。

■マットレス

ベッドサイズ	マットレスサイズ (mm)
84 幅	長さ 1960mm × 幅 840mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅レギュラー	長さ 1960mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅ショート	長さ 1760mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
91 幅ロング	長さ 2100mm × 幅 910mm × 厚さ 150mm 以下
100 幅	長さ 1960mm × 幅 1000mm × 厚さ 150mm 以下
120 幅	長さ 1960mm × 幅 1200mm × 厚さ 150mm 以下

7. 仕様について

■ ハイロー 1 モーターベッド（ニューリバティ・ベスティー【棚付】）シリーズ

		マット幅 91	マット幅 91S
ベッド全長 (mm)	ニューベスティー	2070	1870
	ニューリバティ	2060	1860
	ニューベスティー棚付	2212	2012
	ニューリバティ棚付	2205	2005
ベッド全幅 (mm)	ニューベスティー・リバティ（棚付）	996	
ベッド床高 (mm)		標準：300～600	低床：265～565
ヘッド高さ (mm)	ニューベスティー・リバティ	標準：636～936	低床：601～901
	ニューベスティー棚付	標準：703～1,003	低床：668～968
	ニューリバティ棚付	標準：628～928	低床：593～893
フット高さ (mm)	ニューベスティー・リバティ（棚付）	標準：526～826	低床：491～791
重量 (kg)	ニューベスティー	71.7	70.6
	ニューリバティ	68.6	67.5
	ニューベスティー棚付	82.2	80.6
	ニューリバティ棚付	85.3	83.7
材質	木部	化粧板・ウレタン樹脂塗装仕上げ	
		化粧板	
	モーターユニット	スチール製：抗菌粉体塗装仕上げ	
	ベースユニット		
	幅出しユニット		
	ボトムユニット		
電圧 (V)		100	
電流 (A)		1.5～1.7	
モーター消費電力 (W)		150～170(モーター1台あたり)	

8. 故障かな？と思ったら

■ 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

チェック1

電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？

対応： 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

チェック2

手元スイッチのコネクタがコントロールボックスから外れていませんか？

対応： 手元スイッチのコネクタをコントロールボックスに差し込んでください。

チェック3

アクチュエータ（モーター）のケーブルがコントロールボックスから外れていませんか？

対応： アクチュエータ（モーター）のケーブルをコントロールボックスに差し込んでください。

チェック4

手元スイッチのランプが点滅していませんか？

対応： 連続使用でアクチュエータやコントロールボックスが熱くなると過熱防止回路がはたらき、アクチュエータが停止します。

ランプが点灯の状態になるまで 20 分程お待ちください。

ランダルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
青森サテライト	〒 030-0921 青森県青森市原別 8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
八戸サテライト	〒 039-1164 青森県八戸市下長 8-10-8 TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
秋田サテライト	〒 010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反 170-81 TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
岩手営業所	〒 020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒 984-0821 宮城県仙台市若林区中倉 3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 42-1 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒 193-0824 東京都八王子市長房町 22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒 120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒 262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21 RT サンライト 101 号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒 220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒 485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒 578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
岡山サテライト	〒 700-0975 岡山県岡山市北区今 8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066

株式会社ランダルコーポレーション本社

〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1

代 表 : TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
営 業 部 : TEL.048-475-3662